

平成29年度 第1回 学校評議員会

○日 時 平成29年6月20日（火） 午後6時00分～

○場 所 千早赤阪村立千早小吹台小学校 校長室

○出席者 学校評議員 矢田節彦・ 上原裕美 ・ 樋口千納
校 長 當麻裕彦
教 頭 春次 秀夫（進行）

◎案 件

- ① 本年度の学校経営の方針について
- ② 本年度の具体的な教育内容について
- ③ 学校評議員の皆様よりの意見聴取について
- ④ その他

○協議された意見の概略

「やさしさと笑顔いっぱいの学校」という目標が大変よい。やさしさが言葉や行動として表れることを目標にすればよい。

チアガールの笑顔が人に伝わるように、行動に人柄が表れるものである。心の中はわからない。自分が思っていることを相手も思っていると思うことは間違い。

「例年通りではなくよりよいものを目指す姿勢」という目標がよい。

参観が多くてよい。子供には「みているよ」というアピールができる。

学校支援本部の活動にも参加してみて、学校への敷居の高さがなくなった。

・我々も行事の思い出は数々あるもの。行事で子供の心が育つ部分は大きい。

金剛登山はすばらしい。

伝統ある行事は続けるべき、子供はそれが印象に残る。長い目で見たら値打ちがある。外に出て行くリスクはあると思うがメリットを生かすように方法を考える事が大切。

・縦割り班のつながりは「誇り」である。「誇り」は自慢ではない「誇り」ということが価値。

世界に出て行くには英語ができた方がよいので、特色である英語は発展して欲しい。

校長が作成編集されている「千早小吹台だより」に学校経営や考えが網羅されていてわかりやすくよく理解できる。この「千早小吹台だより」の活用が最良の広報活動だと思う。紙の色を貴校のイメージカラーのグリーンにするなど印象に残る工夫ができないか。

「やさしさと笑顔いっぱいの学校」などの目標を児童一人ひとりの実践にするための具体的なバロメーター（物差し）の構築が必要かと思う。

授業時間数との兼ね合いの中で、行事を確保していただいていることがよくわかった。しかし経験に勝るものはなし、子供たちには机上の勉強プラス、今しかできない体験をいっぱいさせほしい。全校遠足がなくなったのは残念。

学力向上という言葉が会議で出たが、学校の取り組みだけでなく家庭学習の効果も大きいと思う。授業数だけを増やせば学力が向上するというのは違うと思います。

ボランティアに参加させていただくと学校の雰囲気や子供たちの様子がよくわかり、大変有意義である。まだまだこのような活動を知らない方も多いので人数を増やしていったらよい。